

魚津市ワーケーション 体験レポート

【1日目】

1.魚津市に到着

自宅のある名古屋→魚津に自家用車で移動。市街地からすぐの場所に魚津 IC があり便利。

2.片貝山の守キャンプ場でキャンプ

キャンプが趣味のため、魚津市内で唯一という片貝山ノ守キャンプ場を訪問。

雨上がりというあいにくの天気だったためサイトがぬかるんでいたが、すぐ側を片貝川が流れておりとても気持ちのいいロケーションだった。

キャンプ場は特に水回りの設備に当たり外れが大きいですが、こちらはとても清潔に管理がされていた。

利用料金もフリーサイト 1泊 2,000 円+施設利用料 100 円と、キャンプ場としては安い点も good。

自宅から遠いためなかなか再訪することは叶わないかもしれないが、近所にあったらリピート確定。



【2日目】

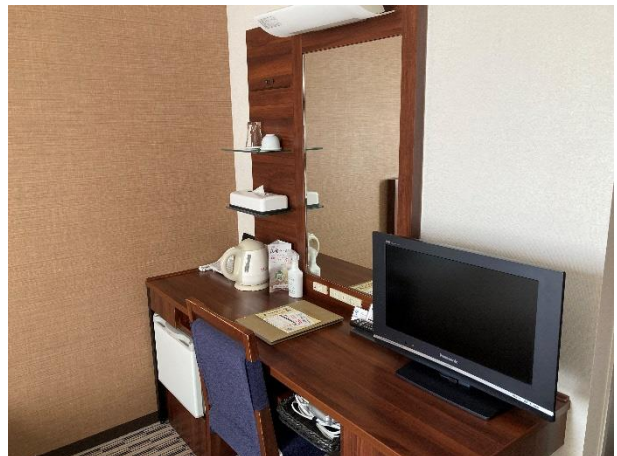
3.金太郎温泉

かなり大規模な温泉で驚いた。泉質は硫黄成分が強く、かなり効能がありそうな温泉だった。



4.魚津マンテンホテル駅前にチェックイン

駅前にいくつかホテルがあったが、大浴場と駐車場があること、コストパフォーマンスを考慮してこちらに。大浴場は露天風呂とサウナもあり。エントランスと室内ともに清潔に保たれている印象。



5. 蟹気楼ロード、米騒動発祥の地、埋没林博物館、海の駅蟹気楼

○蟹気楼ロード…海の駅蟹気楼に車を停めて付近を散策。蟹気楼は決まった時期に数十日/年しか見れないとのことでこの日も見ることはできなかったが、海沿いを気持ちよく散歩した。

○米騒動発祥の地…歴史の教科書で学んだ米騒動が魚津から始まったとは知らなかった。「銀行からの米の輸送を妨害した」という説明文に歴史を感じた。舞台となった米倉が残されている。



○埋没林博物館…館内では埋没林や蟹気楼のメカニズムについて解説されていて面白かった。埋没林というものがない日本中に点在していることも知らなかった。

○海の駅蟹気楼…蟹気楼の名を冠したドライブイン。食事処、浜焼き、鮮魚店、土産屋がある。魚津産のとても美味しそうなお刺身とお土産を購入。



6. 夕食…海の駅蟹気楼のお刺身 & 夜食…ホテルの夜食ラーメン

海の駅蟹気楼でサヨリ(写真左上)、赤カレイ(同右上)、カジカ(同左下)のお刺身を購入したため、ホテルでゆっくり頂いた。どれも新鮮で生臭さが少なく弾力もあり、とても美味しかった。

また、小腹が空いたのでホテルの夜食ラーメンも頂いた。あっさり醤油ベースながらきっちり1人前あり、夜食としては大満足のボリュームだった。



7.ホテルで仕事

Wi-Fi とデスクがあるため、ホテルで仕事をするのに不自由は特に無かった。

【3日目】

8.ホテルで仕事

休憩がてら散歩に出ると市街からでも立山連峰を望むことができ、気分転換にはもってこい。

9.昼食…海風亭の海鮮丼

ホテルから近く、評判もよかったこちらのお店で昼食。店内はおしゃれな小料理屋のようでとても雰囲気がよかった。メニューは海鮮丼ランチを選択。汁物と副菜までついて1,100円と非常にお得感があった。味もちろん美味しく、都会では出会えないコスパ最高の昼食だった。



10. ホテルで仕事

通常午後にかけて客室清掃が入るが、音がうるさいなどの問題はなく作業に集中できた。

11.夕食…はりたやの鱈寿司

魚津漁港近くにあるはりたやさんの鱈寿司をテイクアウト。ホテルに持ち帰って頂いた。

お店の宣伝通り鱈は分厚く切られており食べ応えあり。鱈寿司と聞いて想像するほど酸味も強くなく、鱈の甘みを引き立たせていてとても美味しかった。機会があればまた食べたいし友人にもお薦めしたい。



【4日目】

12.魚津マンテンホテル駅前をチェックアウト

13.片貝来られハウスで仕事

近くにある片貝コミュニティセンター(毛勝の郷シェルピース)で受付をして片貝来られハウスへ。

建物の外観は、まさに雪国の田舎にある一軒家といった感じ。今の時代なかなかこういった昔ながらの日本家屋に触れる機会はないかもしれない。

また、すぐ側を片貝川が流れ、周囲は山々に囲まれた豊かな自然環境下であり、とても落ち着いた。



もちろん建物自体に年季は入っているが、室内は綺麗に清掃がされており特に問題なかった。

居間の柱に子どもの身長が記録されているのを見つけて、古き良き日本を感じた。

1つ注意点を挙げるとすれば、山あいの立地かつ古民家のため底冷えが厳しい。防寒対策は必須。



14.名古屋市に帰宅

3泊4日を魚津で過ごしたが、とても充実した時間だった。このワーケーションモニターがきっかけで魚津のことを知ることができ、本当に感謝。富山湾と立山連峰に挟まれた自然環境が最高に綺麗だった。



ワーケーション参加者へのアドバイス

○都会のように気軽にふらっと訪れることができるコワーキングスペースがないため、事前にワーケーション中のスケジュールを立ててから臨むといいと思います。また、ワーク施設は利用するために事前申請やメールベースでやり取りが必要です。魚津を訪れてからではフレキシブルな対応が難しいため、出発前に余裕を持って手配しておきたいです。

○片貝来られハウスはあくまで移住体験施設のためか、いすとテーブルがなく座卓のみです。

○サイクリングが趣味の方は、絶対に愛車とともに訪れた方がいいと思います。海沿いの蛸気楼ロードや山側の片貝地区でサイクリングをしている方を何人も見ましたが、みなさんととても気持ちよさそうでした。

○駅前にも何もなく最初はちょっと面喰りますが(徒歩5分圏内にスーパーはあります)、東に1kmほど進んだ大通りに一通りのチェーン店が揃っています。(ちょっと歩いただけですが、スーパー/ホームセンター/薬局/書店/ユニクロ/GU/マクドナルド/牛丼屋/ABC-MART などなんでもありました) ちょっとくらい忘れ物をしても全く心配は要らないです。必要があればすぐに調達することができます。

○小生が訪問したのは10月下旬ですが、恐らく冬はかなり厳しい環境です。特に寒さが苦手な方は、訪問時期をよく検討した方がいいかもしれません。また、雪道の運転に慣れていない方も要注意です。

ワーケーション施策に関するフィードバック

○駅前の観光案内所に立ち寄ってみようとしたところ、職員の方が足を組み手を頭に当てて座っているのが見えてしまい、思わず入のをやめてしまいました。自分も接客業の経験があるため、来客が無い時にほっと一息つきたくなるのはよく理解できるのですが、外から見える場所である姿勢はちょっとどうなのかな？と思いました。立地的に電車で魚津に降り立った観光客がまず初めに訪れるであろう場所であり、魚津の魅力をアピールする前に第一印象が悪いのはとてももったいないです。

○3泊4日魚津で過ごしてみて、仮に移住を見据えた時、一番気になるのは冬の生活環境かなと感じました。信号が全て縦向きであることや玄関口が二重になっている点を見ると、魚津の冬は厳しいであろうことが容易に想像でき、だからこそ一度それを体験してみないと移住の決断ができる人はなかなかいないのではないかと感じます。

今は片貝来られハウスがお試し移住の拠点として利用できますが、魚津駅からチェーン店の集まる県道のあたりにも空き家を活用したお試し移住拠点を用意して、1週間～1か月程度実際に住んでみることで環境を整えるのも面白いかもしれないと思いました。移住時の選択肢としてマジョリティはやはり生活環境の整った市街地ですし、いきなり片貝地区に住むのはハードルが高い気がします。

○ワーク施設の利用申請がどこも申請書の事前送付という形で、正直とても不便でした。初めて施設に訪れてみて、気に入ったから明日も利用してみようといったフレキシビリティに欠けると利用に後ろ向きになってしまいます。

また、施設利用時のチェックインも簡略化してほしいです。移動時間や受付時間にとられた時間で仕事ができます。Airbnbのようにチェックインガイドの事前メール送付やスマートキーを導入すればチェックインレスにできるはずであり、コワーキングスペースとして運用するならそういった手軽さが必須だと思います。もしモニター事業ではなかったら、ホテルと快活クラブしかワーク施設として利用していないです。

○片貝来られハウスでは山々の緑と川のせせらぎに囲まれてとても気持ちよく仕事のできたので、せっかくなら魚津の魅力である富山湾を眺めながらも仕事が出来たかったです。蟹気楼ロードの景色が素敵だったので、海の駅近くにそういった施設があると昼食にも困らず作業ができてとてもいいと思いました。

○ここまで厳しめにフィードバックを書いてしまい申し訳ありません。今回の滞在を通して魚津に対してネガティブな印象を抱いたわけでは全くなく、むしろとても気持ちよく過ごしてリフレッシュすることができたため、少しでも小生のフィードバックが魚津のためになればと思い、記載させて頂きました。

沖縄や京都のような一大観光地ではないがゆえに、程よく観光と仕事を織り交ぜながら1日の時間を過ごすことができましたし、昼休憩には気分転換に美味しい海鮮を食べることもでき、とても“ワーケーション”がしやすい土地だったなと感じます。

他のモニター参加者の方々のレポートなども受けて、魚津という土地がより魅力的なものとなり、小生のような新たな関係人口の創出につながることを期待しています。本当に素晴らしい場所でした。

担当より

魚津の海と山を十分に満喫していただいたご様子。また、雪国魚津につきましても詳細なレポートと移住施策にもご意見いただき感謝申し上げます。ご提案いただいたワーク施設の利用手続きにつきましても、運営団体にも情報共有させていただきます。海の見える施設につきましても、他の参加者からご要望をいただいております。次回の再訪いただく時まで、少しでもご意見に沿うような環境づくりに努めますので、またのお越しをお待ちしております。ありがとうございました。